

堆肥活用
の効果

- ・花と葉の色がより鮮やかに！
- ・節間が詰まった良質な花苗ができた！
- ・花苗品質が向上し相対取引が増えて販路拡大、売上がアップ！直売に来るお客様も増え、交流の機会も増えた！

堆肥活
用前の
課題

- ・花苗生産における鶏糞堆肥の施用量が不明だった
- ・ブロイラー飼養において、堆肥の供給先を広げたい

機械等

- ・ブロイラー部門で高速堆肥化装置とペレットマシンを導入

農業者のプロフィール

農業者名（法人名・組織名）

株式会社百姓屋

作物名

花苗、ブロイラー

栽培面積

花苗 21a（年間14万ポット出荷）

ブロイラー 年間70万羽出荷

所在地

伊万里市波多津町津留2482-1

オリジナルブレンドの培養土



既存の培養土と鶏糞堆肥の混合割合を何度も試行錯誤してオリジナル培養土が完成した。今や口コミ、SNSを通じて培養土を購入に来るお客さんもいるほど人気が高まっている。

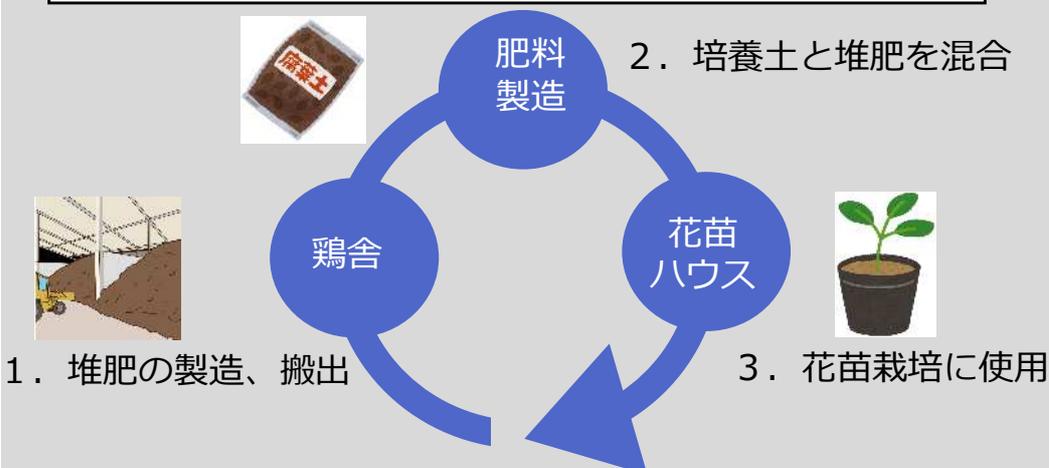
品質が向上した花苗



オリジナルブレンド培養土(左)と通常培養土(右)の花苗（マリーゴールド）。オリジナル培養土では花芽が増え、花色・葉色が向上した。（平成30年度から鶏糞堆肥の利用を開始）

耕畜連携の体制図

環境にやさしい農業をやりたいと思ったことをきっかけに鶏糞堆肥の利活用に取り組み始めた。



利用開始：平成30年度～
 堆肥使用量：年間1500L
 堆肥製造：約2か月間定期的な切り返しと、高速堆肥化装置により発酵促進させて生産。
 鶏糞堆肥混合：秋出荷用は培養土7万ポット分にバラ鶏糞堆肥を500L、春出荷用は7万ポット分に対して1000L利用。
 備考：自社鶏糞ペレット堆肥を追肥で試験中。

堆肥ニーズの年間スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|----|----|----|----|------------------------|----|-----|-----|-----|-------------------------|----|----|
|  | | | | | ←→ 堆肥500L 7万ポット分 | | | | | ←→ 堆肥1000L 7万ポット分 | | |

活用した耕種農家の感想



環境保全を意識して堆肥利用を始めたが、結果として花苗の品質が向上し、栽培のモチベーションも向上した。また、堆肥利活用を通じて生産者同士の繋がりが増えた。環境保全に貢献している自負も芽生え、自社の取組を誇らしく思っている。

畜産農家からの感想



堆肥の利用先確保は畜産農家にとって優先度が高い課題の1つである。堆肥を使うことで品質が向上し、それを購入した人が喜んでもらえるとう堆肥生産意欲が増す。今後はもっと多くの品目で利用してもらえるよう働きかけたい。

今後の目標・方向

鶏糞堆肥をもっと多くの品目に利活用してもらい、環境に優しい循環型農業への取り組みを広げたい